

王将フードサービス (コード 9936・大証1部〔100株〕)

業績推移(連結)

(予想数値は会社発表分。単位・百万円、%、円)

決算期	売上高		経常利益		一株当たり		配当性向	売上高 経常利益率
		伸び率		伸び率	純利益	配当		
08.3	49,767	+5.4	5,250	+0.3	124.3	35.0	28.2	10.5
09.3	54,986	+10.5	6,190	+17.9	147.3	40.0	27.2	11.3
10.3(予)	57,642	+4.8	6,656	+7.5	165.4	40.0	24.2	11.5

ギョウザを中核とする大衆中華料理店チェーン

特色...「ギョウザ」をメニューの中核に据えた大衆中華料理店チェーンで、幅広い顧客層を獲得できる“中華”業態、高いリピート率と多様な立地で出店可能な“日常食”業態であることが強み。09年3月末現在の店舗数は527店(直営、FC合計。中国大連5店を含む)で、このうち約60%(310店)が関西地区で占められている一方、関東地区、東海地区への出店も拡大。特に関東地区では99年3月末48店から09年3月末90店へと店舗数がほぼ倍増となっている。

既存店好調などで09年3月期は増収増益に

既存店売上高が6.9%増...09年3月期は、創業以来こだわってきた「個店経営」、「店格」を上げるための教育研修、「売れ筋メニュー」キャンペーン(半月ごとに一品ずつ実施)による商品価値向上、改装による新たな需要の掘り起こしなどに加え、これらの取り組みが相次いでテレビ、新聞、雑誌などのメディアで取り上げられることによって新規顧客やリピーターが増加。売上高は08年3月期比10.5%増となり、増収効果で食材価格の高騰やガス代・減価償却費などの増加を吸収し、営業利益(60億8,800万円)は同16.2%増。経常利益についても同17.9%増となり、過去最高の業績となった。連結ベースでの新規出店数は28(うち直営19、FC9)、退店数は9(直営5、FC4)、FCから直営への移行が1店。また、新規出店並みの投資による既存店改装を積極的に実施し、直営店ベースの既存店売上高は同6.9%増、既存店客数も同5.0%増と、外食業界全体が苦戦する中で好調に推移した。年間配当は08年3月期実績に比べて5円増の40円に。

新規出店寄与などで10年3月期も過去最高業績へ

引き続き過去最高業績へ...10年3月期は、売上高が7期連続増、経常利益は9期連続増の見込みで、前期に続いて過去最高業績を更新しそう。投資効率や販売促進活動の有効性を十分に検討し、既存店の活性化を図りつつ、新店効果による業績拡大を目指す。また、地域に“なくてはならない店”でありつづけるため、「個店経営」へのこだわりと“店格”向上への施策を前期に引き続いて実施していく方針。通期の新規出店(国内)は25店(うち直営19店、FC6店)、退店3店を計画しており、中国大連を含めた10年3月期末の店舗数は549店(09年3月期末比22店の純増)の見通し。年間配当は40円を予定している。

09年4~6月の既存店売上高は20.5%増...会社側では今期の既存店売上高(直営店ベース)を前期比0.7%増と堅めに想定しているが、月次での既存店売上高(直営店ベース)は、4月:14.9%増、5月:21.2%増、6月:25.9%増。4~6月でも前年同期比20.5%増と好調に推移している。

本レポートは、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなさいますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。